

NEWS

Feel-G ゼロセトリングログ®&CLTログ®
特許取得しました!

Feel-Gログハウスの標準仕様であるメンテナンスフリーの次世代ログ【ゼロセトリングログ】と世界中で注目されているCLTを使用した【CLTログ】、Feelが開発したこの2つのログ材が2021年2月、正式に特許取得となりました。

繊維方向の異なる木材を中央にサンドした3層ラミネートの「ゼロセトリングログ」は、中央部の縦方向の材が、木材の収縮や沈みによるセトリングを抑制。これまでのログハウスに必要不可欠だったセトリング対策が不要となり、高い気密性とメンテナンスの緩和を実現しました。

一方のCLTログは、CLT(Cross Laminated Timber)と呼ばれる高強度積層パネルを使用した当社唯一のオリジナル商品。従来のログハウスを数段上回る強度で、台風や暴風雨の影響を受けやすいエリアにもおすすめのログハウスです。国土交通省から木造建築物等技術的先導事業にも採択されたCLTログハウスの技術は、戸建てだけでなく中大規模の木造建築物まで幅広く対応いたします。

特許取得の「CLTログ」による最新のログハウスがご見学できます

Feel横浜展示場

営業時間／10:30～18:00 定休日／水・木曜日(祝祭日を除く)
住所／〒240-0016 神奈川県横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘18-11

●公共交通機関でお越しの方…

JR横須賀線・湘南新宿ライン「保土ヶ谷駅」西口より
バス[25系統]横浜駅西口行き 乗車10分、「花見台」バス停下車徒歩1分

●お車でのお越しの方…

横浜新道「新保土ヶ谷IC」より4分 花見台交番前信号右折90m
カーナビの方は「神奈川県横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘18-11」で検索の上、お越しください。

※ご見学は完全予約制となります。フリーダイヤル0120-15-6983または当社ホームページよりご予約をお願いいたします。



ゼロセトリングログやCLTログ、
その他Feelブランド商品についてのお問い合わせは
右記WEBサイトまたはフリーダイヤルまで
お気軽にお問い合わせください。

ログハウスのことなら、お任せください。

いこー ログ や さん
0120-15-6983

資料請求・メールでのお問い合わせはこちらから。
www.kinoie.co.jp

vol.
39
2021
Summer

a periodical **TUuli**
ログハウスファンとフィールブランドでつくるコミュニケーション情報誌





お店のアイコン、本を読む
マリリン・モンローの看板
がブックカフェの目印。

ログハウスで夢見る、 絵本のブックカフェ

Y様（埼玉県蕨市）

埼玉県の閑静な住宅街、住居が建ち並ぶ一角に突然現れる小さな平屋のログハウス。間口2m、奥行10mの長屋のような建物は、中に入ると国内外の絵本がずらりと並んでいます。

オーナーのY様は、娘さんが生まれた時から毎月2、3冊ずつ買い集め、絵本のコレクションが今では500冊以上にもなっているそうです。

「ミイラ取りがミイラになったじゃないですか、いつの間にか自分自身が絵本を大好きになっていました。」

そんな絵本好きなY様は、これらの絵本を活かして定年退職後にブックカフェをやりたいという夢を叶えるべく、このログハウスを建築されました。

Y様は当初、一般的な在来工法のメーカーでご検討を進めていたそうですが、ある時行きつけのバーで煙草の臭いが壁に染みついでいることに気がつき、そこの店主からお店の壁の漆喰に消臭効果があることや同じ多孔質の天然素材である木なんかも消臭効果が高いという話を聞き、それならログハウスはどうだと思い立ったのが当社にお越しいただきっかけになったそうです。

「検討していた木造のメーカーは小さい建物のせいか割高な見積もりになってしまったのですが、Feelさんのログハウスは予算にも収まり、工期も希望通りだったので決めました。」

「実際に建ってみると、新建材の建物とは全然違う木の匂いやあたたかみを感じられる空間が出来上がり、これなら子供達にもいいなあと実感しました。」

ブックカフェとしての開業は、現在お勤めのお仕事が終了する5年後を予定していて、いまは絵本の読み聞かせ会や子供食堂などの非営利団体へ無償でスペースを貸出していること。

ブックカフェの構想を伺うと、「子供たちには絵本を通して言葉や発想を得て、自分で考える力を身につけてもらいたい。そうすれば辛い時に自分を励ますことができるようになるから。でも子供だけじゃなくて、大人にもぜひ絵本を読んでもらいたい。その時々でまた違った発見や味わいがありますから。ここは小さなお子さんや子育て中の人大けじゃなく、学生さんからおじいさん・おばあさんまで、いろいろな人が集まる場所にしたいですね。」と優しく語っていただきました。



大きなモニターは絵本を映しての読み聞かせやスポーツ観戦にも。

本格的に始動させる時期になったら、桜並木や公園がすぐ近くにあるロケーションを活かしてテイクアウトの軽食やおいしい野菜の販売、ご自身も大好きというサッカー観戦ができるお店作りなど、さまざまな顔を持つブックカフェにしたいと教えてくださいました。

オーナー様ご自身の居場所でもあり、誰かの居場所にもなるブックカフェ—ここを訪れる人それぞれがお気に入りの絵本を手に取り、思い思いの時間を過ごせる素敵な空間でした。ログハウスもたくさんの子供達の成長とともに味わいを増していくことでしょう。



オーナーY様
おすすめ

大人に読んで欲しい一冊
「すき」
トメク・ボガッキー 著 木坂 涼訳
出版社:セーラー出版(1998)



絵本選びは色合いの綺麗なものを中心に、直感で選ぶことが多いそう。
カフェのために揃えたお皿も、イタリア製の色鮮やかなものをチョイス。



取材時も穏やかな声で絵本の読み聞かせをしてくれたオーナーのY様。
浦和レッズ誕生に尽力した「浦和にプロサッカー球団をつくろう会」の発起人でもある。



From Finland

～コロナ禍のフィンランド～
人々が生み出す新しい楽しみ



みなさんこんにちは。フィンランドにあるログハウスの工場で、輸出マネージャーをしている Marja です。

昨年から続く世界的な COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の大流行は、私達の国も例外ではありません。

政府や自治体は職場や学校、趣味、公共スペースに関して規制や要請を行い、レストランの閉鎖や学校での遠隔授業、在宅勤務が推進されました。

12歳以上の人にはマスク着用が勧告され、いまでは多くの人がマスクをするようになりましたが、もともとマスクをつける習慣のないヨーロッパ圏では、当初この病気の深刻さやマスク着用の必要性がなかなか理解されませんでした。

フィンランドでは看護師や高齢者、持病を持っている方からワクチンの接種がはじまっていますが、ヨーロッパ全体でワクチンが不足しているため、国民全員が接種できるまでにはまだ時間がかかります。それまでは、離れて暮らす家族や友人に会うことを避け、なるべくほかの人と関わらないようにしなければならないというのが、とても悲しいです。

ですが、このような状況が続く中でも人々は新しいライフスタイルを実践し、楽しみを見出して暮らしています。

ステイホーム中には部屋の壁紙を変更したり、キッチンキャビネットの修繕など、自宅での DIY をする人が増えました。また、料理のティカアウトやデリバリーサービスも普及し、とても便利になりました。ジムに行くことができなくなったために、家での運動やアウトドアスポーツの趣味が盛んになり、フリスビー やオリエンテーリングなど、家



族で様々なゲームをしている人も多いようです。

フィンランドは自然がすぐ身近にあり人口も少なく、野外活動における感染リスクは低いため、スキーやウォーキングなどの密を避けた野外活動を行う人は老若男女問わず増加しました。

そしてダウンヒルスキーよりもっと簡単で安全なスノーバイクなど、いくつかの目新しくて楽しいアウトドアスポーツにも注目が集まっています。その中でもとりわけ面白いのが雪の上をウールの靴下で走る「ウールソックスランニング」です。ちょっと信じられないかもしれませんが 2019 年 1 月には第一回フィンランドウールソックス選手権がオリヴェシという街で開催されました。氷点下 15 度の中、多くの人々がウールソックスでの走りを楽しんでいました。このような低い気温ではさらさらの乾いた雪になるため、ウールソックスは濡れず、雪は足裏にくっつかないのです。



私たちがいま経験しているコロナ禍は出口の見えない長いトンネルのようなものですが、かならず出口があり、その先には光が輝いているはずです。

自由に故郷や国外を訪ねたり、気兼ねなく家族や友人に会うことができる日が早く来るといいですね。

From Merja Pesu
(フィンランド工場、Huvila Seppälä 社輸出マネージャー)



教えて Panasonicさん!

インテリアは照明で決まる、上手な器具の選び方

1938年に蛍光灯が実用化され、1950年代にお茶の間に登場して以来、進化を繰り返してきた住宅照明は、2010年頃から急速に進んだLEDの普及により大きく変化し、私たちの生活にもさまざまな恩恵を与えてくれました。

コロナ禍によって自宅で過ごす時間が長くなった昨今、リモートワークやおうち時間の快適性を左右する「照明」について、Panasonicの川口さんにお話を伺いました。

照明のプランニングとタイミング

照明はインテリアの一部として、住宅の雰囲気を決める重要な要素の一つです。ただ、間取りや設備、仕様など決める事が多い建築計画の中では、つい後回しになってしまいがちですよね。

壁面や天井に照明を埋め込む必要のあるダウンライトや建築化照明はもちろん、それ以外も後々の追加や変更が難しいケースもありますので、設計段階から照明プランニングを進めて、照明にかかるコストも早めに把握できるのがベストです。

もし予算の都合でコストダウンを図りたい場合は、例えばダウンライトを60W相当から100W相当にして1個辺りを明るくすれば個数を減らすことができます。また、空間の中心ではなく壁際に配置して壁を照らすようにすると壁に反射して明るさを感じやすいです。

ネットショッピングで安く調達するのも有効ですが、メーカーを合わせてコードやカバーのデザインに統一感を持たせるとぐっと洗練された雰囲気になります。

点灯する場所に気を配ることで空間を演出することもできます。

食事の時はダイニングテーブルを照らして団欒や集いを演出したり、映画を見る時はテレビの後ろの壁を淡く照らすと雰囲気が良くなるだけでなく、画面の眩しさを抑えて目の疲れを軽減することができます。

大切なのは部屋全体を明るくしき過ぎないこと。最近では就寝に伴ってだんだんと暗くしていった方が安眠しやすいと言われています。

作業する際の手元など必要なところに必要な明るささえあれば、実はそんなに明るさを気にする必要はありません。

リモコンで簡単に光の色や明るさを変えられるのもLED照明ならではのメリットで、リモートワークの際に仕事とプライベートの切り替えを照明器具で行う方も増えてきています。お仕事の時は少し青みがかった“昼白色”を使用し、くつろぎたい時は温かみのある“電球色”を切り替えて使用するのがおすすめです。

また、2つの中間色で“温白色”というニュートラルな色の照明も出ていて、洋服やお化粧の色などがわかりやすいので、クローゼットや洗面室に最適です。



生活シーンに合わせたあかりの調節例。

明るさの目安(60形相当、100形相当など)や色(色温度:3000K、5000Kなど)はメーカーのカタログに記載されていますが、できればショールームに足を運んで実際のあかりを見て体感して頂けると、照明器具の配置や明るさがイメージと違った…というのはずいぶん減らせると思います。CGによる照明プランのシミュレーションなどもできますので、活用してみてください。

おすすめの照明器具

従来の白熱灯や蛍光灯と比べて省エネ・長寿命なLEDは、器具の小型・軽量化を実現し、いろいろなデザイン・形状の照明が登場しました。それに伴い、ダウンライトや間接照明など、複数の照明を部屋のあちこちに配置する「分散照明」の手法にシフトしてきます。

ログハウスのような木を多く使った住宅には、シンプルな北欧デザインや、カフェ風のナチュラルな照明はよく似合いますね。デザイン性の高い照明を取り入れる場合は、その一灯を中心に据えてプランニングすると良いと思います。照明は「電気を消した時にも美しいデザイン」を選ぶことがポイントです。

直近ではスマートフォンやスマートスピーカーで操作のできる器具やスピーカー付のダウンライトなど、照明器具もどんどん進化していますので、日々を心地よく過ごせるお気に入りの一灯を探して頂ければと思います。



カーテンボックスの上部などを利用するライティングもおすすめ。



完成物件

★ T 様邸	埼玉県比企郡	住
★ H 様邸	東京都江戸川区	住
★ S 様邸	長野県北安曇郡	住
★ K 様邸	埼玉県北葛飾郡	住
★ S 様邸	茨城県つくば市	住
★ M 様邸	神奈川県横須賀市	住
★ S 様邸	長野県北安曇郡	店
★ U 様邸	埼玉県和光市	住
★ S 様邸	東京都青梅市	住
★ S 様邸	埼玉県所沢市	店/住



埼玉県北葛飾郡 K様邸

Feel-A

吹抜けのリビングが開放的な4LDKの住宅です。効率的なプランニングで土間の玄関収納や、パントリー、WICなど随所に使いやすい収納を完備。縦貼りにした木サイディングとグレーメタルサイディングの組み合わせがクールな外観です。



東京都あきる野市 M様邸

Feel-G

2LDK+2LDKの大きな二世帯住宅ログハウス。玄関から水回りや階段など、動線を含めて完全分離型とし、2つの世帯が近い距離でも気兼ねなく暮らせるプランです。お客様それぞれの暮らしにフィットさせることができる自由設計の強みを活かした一棟です。



神奈川県横須賀市 M様邸

Feel-G

海辺のロケーションに合うブルーの塗装に、船艤用の丸窓やステンドグラスを使った印象的な外観のログハウス。人気のガレージハウス仕様で、アウトドアリビングとして使える大きな軒のバルコニーやグランピングルーフからは太平洋の絶景が楽しめます。



静岡県伊東市 W様邸

Feel-G

わんちゃんのしつけ教室とドッグカフェを併設したご自宅をログハウスでご建築頂いています。1階店舗部分はお手入れしやすい床材などを採用。2階住宅部分はコンパクトながらドーマーやゲルニ工の設置で空間を最大限利用できるプランニングです。

Webサイトで物件の詳しい写真をご覧いただけます。www.kinoie.co.jp

メンテナンス応援! 再塗装工事・塗料 5% OFF!

すまいは建物が完成した時がゴールではありません。

すまいがいつまでも快適な暮らしを支える存在であり続けるためには定期的なメンテナンスが大切です。

ログハウスと木サイディング、ウッドデッキなどの木部は耐久性を保つために

5~10年に一度の再塗装をおすすめしています。

いまなら特別割引価格で皆様の再塗装を応援します。

●再塗装工事一式(塗料/足場/塗装)…見積価格より5% OFF

●塗料のみ…Feelオーナー様限定価格よりさらに5% OFF

オリエンピック・マキシマム・セミトランスペーレント[半透明タイプ]

3.78L缶/ 10,054円(税込)→ 9,551円(税込)

オリエンピック・マキシマム・ソリッド[塗りつぶしタイプ]

3.78L缶/ 11,462円(税込)→ 10,888円(税込)



再塗装費用は、建物面積・形状、塗装箇所、足場の有無、塗料の種類等によって変わります。個別にお見積りいたしますので、まずはお気軽にフリー電話(0120-15-6983)でご相談ください!
こちらからもお問い合わせいただけます。▶▶▶

